

危険物取扱者試験 試験案内

(令和6年度 前期 (4月～9月) 試験)

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により、愛媛県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

一般財団法人 消防試験研究センター 愛媛県支部

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。
 申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。
 受付期間後は、受験の取消しや受験内容の変更はできません。試験手数料もお返しできません。

前回試験からの主な変更点

- ◎電子申請と書面申請の受付期間が、同じ期間になりました。(電子申請の受付時間は、受付開始日の午前9時から受付最終日の終日となります。P5参照)
- ◎乙種の複数受験が、3種類まで可能になりました。(P4参照)

1 試験日、試験会場、受付期間等

試験日	試験会場	試験種類	受付期間	結果発表予定日
令和6年 6月23日 (日)	愛媛大学 城北キャンパス (松山市文京町3) 学校の生徒等の試験会場 (※) 〔新居浜工業高等学校 今治工業高等学校 松山工業高等学校 八幡浜工業高等学校 吉田高等学校〕	甲種 乙種第1類 ～第6類 丙種	4月9日 (火) 、 4月19日 (金)	7月12日 (金)

※ 学校の生徒等に限りに、上表の「学校の生徒等の試験会場」で受験することができます。

「学校の生徒等」：大学、短期大学等を除く学校教育法第1条に掲げる学校<高等専門学校、特別支援学校、中等教育学校、高等学校、中学校、小学校>の生徒、及び施設入所者等で遠隔地等での受験が困難と事前に支部が認めた方をいいます。

2 試験開始時刻及び集合時刻

試験種類	試験開始時刻 (集合時刻)	注意事項
乙種第4類 (科目免除なし)	午前10時(午前9時半) 又は 午後2時半(午後2時)	1 各受験者の試験開始時刻は、当支部が指定し、受験票で通知します。したがって、受験者自らが選択できませんので、いずれの指定でも受験できる状態で願書を提出してください。なお、午前及び午後の両方を受験することはできません。 2 学校の生徒等の試験会場の試験開始時刻は、午前10時のみです。(集合時刻：午前9時半)
上記以外の全種類	午前10時(午前9時半)	複数受験を含みます。

受験手続きから合格後の免状交付申請手続きまでの流れ

電子申請

簡単！
乙種・丙種の
科目免除なしの方
オススメです！

楽々！
願書の入手、提出の
手間がゼロ！

当センターホームページから入力申請

【アドレス：<https://www.shoubo-shiken.or.jp>】
電子申請できる試験の種類等に限定があります。
また、受付期間に注意してください。

P 5 参照

試験手数料の払込

払込方法は、クレジットカード、
コンビニ、ペイジーのうちから選べます。
※払込手数料が必要です。

P 12, 13 参照

受付完了メールの受信

試験手数料の入金確認後に、当センターからメール
が送信されます。

受験票印刷のためのメール受信

試験日の約 10 日前に、当センターからメールが送
信されます。

P 14, 15 参照

受験票のダウンロード・印刷

受験票は受験者が印刷します。当支部からは郵送
されません。 ※A4サイズで印刷してください。

書面申請

受験願書・払込用紙・試験案内の入手

入手場所：各市町地区消防本部(局)、愛媛県消防
防災安全課、愛媛県各地方局防災対策
室及び各支局総務県民室、当支部等

P 6～11 参照

受験願書の記入・作成

P 12, 13 参照

試験手数料の払込

郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込み（A
T M機での払込み不可）、「振替払込受付証明書
（お客さま用）」を願書B面に貼付してくださ
い。
※払込手数料が必要です。

P 6 参照

受験願書の提出

当支部へ郵送又は持参してください。

P 14 参照

受験票の受け取り

試験日の約 10 日前に当支部から発送されます。

受験票への写真の貼付

受験票に規定の写真を貼ります。

P 14, 15 参照

試験日

写真を貼った受験票がないと受験できません。

P 16 参照

試験結果通知書受け取り

当支部から郵送します。当センターホームページには、合格者の受験番号が掲示されます。

P 16 参照

合格者は免状交付申請

当支部へ郵送又は持参してください。申請受付後、概ね 2～3 週間で交付します。

P 17, 18 参照

3 試験の種類と取り扱うことができる危険物

危険物取扱者免状には甲種、乙種及び丙種の3種類があります。甲種・乙種は取扱作業及びその立会い、丙種は乙種第4類危険物のうち指定された危険物に限り取扱作業をすることができます。

試験の種類		取り扱うことができる危険物	
甲 種		すべての種類の危険物	
乙 種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等
	第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸等
丙 種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油等

4 受験資格

甲 種	受験資格が必要です。 受験資格については、別記1「甲種危険物取扱者試験 受験資格」(P19)をご確認ください。
乙 種	受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。
丙 種	

5 試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目 (略称)	問題数	合計	試験時間
甲 種	危険物に関する法令 (法令)	15 問	45 問	2 時間 30 分
	物理学及び化学 (物化)	10 問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	20 問		
乙 種	危険物に関する法令 (法令)	15 問	35 問	2 時間 00 分
	基礎的な物理学及び基礎的な化学 (物化)	10 問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10 問		
丙 種	危険物に関する法令 (法令)	10 問	25 問	1 時間 15 分
	燃焼及び消火に関する基礎知識 (燃消)	5 問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10 問		

※ 試験科目欄の略称は、6 (P4) の表で使用します。

6 乙種・丙種 危険物取扱者試験の科目免除

(1) 乙種と丙種の試験については、次表の免除資格者が、免除対象試験の科目免除手続きを行えば、試験科目ごとに全部又は一部の試験が免除されます。(甲種の試験には免除はありません。)

免除資格者	免除対象試験	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
①乙種危険物取扱者免状を取得している方	乙種第1類～第6類	法令	全部免除	0問	10問	35分
		物化	全部免除	0問		
		性消	—	10問		
②火薬類免状を取得しており、科目の一部免除を申請する方	乙種第1類 乙種第5類	法令	—	15問	24問	1時間30分
		物化	一部免除	4問		
		性消	一部免除	5問		
③乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を取得しており、科目の免除を申請する方	乙種第1類 乙種第5類	法令	全部免除	0問	5問	35分
		物化	全部免除	0問		
		性消	一部免除	5問		
④5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組組法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	丙種	法令	—	10問	20問	1時間00分
		燃消	全部免除	0問		
		性消	—	10問		

※ 上表の「火薬類免状」とは、甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状、又は甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状をいいます。(火薬類取締法)

(2) 科目免除の手続き

受験者の区分	書面申請	電子申請
(1)の表の免除資格者①で、他の乙種を受験する方	「受験願書記入要領」(P7～11)に従い、 ・免状の写しの貼付(願書B面裏) ・「科目免除」欄の記載(願書A面)	免状情報の入力 (ホームページから)
(1)の表の免除資格者②又は③で、乙種第1類又は第5類を受験する方		不可 ただし、過去3年以内の受験票、受験票(控)又は試験結果通知書を所持している場合は、同じ試験種類に限り、それらに記載されている「資格判定コード」等を利用して、電子申請できます。その場合、試験の科目免除は前回試験で選択した内容がそのまま適用されます。
(1)の表の免除資格者④で、丙種を受験する方	「受験願書記入要領」に従い、 ・団員歴証明書及び教育修了証明書を貼付(願書B面裏) ・「科目免除」欄の記載(願書A面)	

7 複数受験

すでにいずれかの乙種危険物取扱者免状を取得している方は、同一試験時間帯に乙種の試験を**3種類まで**同時受験することができます。(それ以外の複数種類の受験はできません。)

※1 2種類受験する場合の試験時間は1時間10分、3種類受験する場合の試験時間は1時間45分で、この時間内に複数の試験を併せて行います。

※2 複数受験の受験申請は、書面による申請のみとなります。受験願書をそれぞれ種類ごとに作成し、クリップ等で一括して留め、同一の封筒に入れて提出してください。(試験手数料も、それぞれの種類ごとに必要です。)

※3 試験手数料は、複数種類分を1枚の払込用紙でまとめて払い込むことができます。(詳しくは、P13参照)

※4 団体「一括」申請の場合は、電子申請でも可能です。(後記8-3(P12)参照)

8 受験申請の方法

受験申請の方法は、電子申請(インターネットによる申請)と書面申請(願書による申請)の2種類があります。また、個人での申請のほかに、団体申請という方法もあります。

※1 受付期間後に、受験の取消しや受験内容の変更はできません。試験手数料もお返しできません。

※2 受理した受験願書及び関係書類は、返却できません。

※3 車椅子や松葉杖を使用するなど、受験時に特段の配慮を希望する場合は、受験申請時に申し出てください。可能な範囲で配慮をします。

8-1 電子申請の方法 複数受験を希望する方は、電子申請できません。

電子申請（インターネットによる申請）の場合は、次表の内容を確認したうえで、当センターのホームページにアクセスし、所定の画面から情報を入力してください。（QRコードを読み取れる場合は、下記QRコードをご利用ください。ホームページアドレス <https://www.shoubo-shiken.or.jp>）

次表の「電子申請の可否」欄に×印が表示されている場合は電子申請できません。書面により申請してください。

試験種類	内 容	電子申請の可否	備 考
甲種	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状を取得している方 ●第1類又は第6類 ●第3類 ●第2類又は第4類 ●第5類	○	■電子申請するに当たっての留意事項は、次のとおりです。 ・パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、受験票（PDF）を自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できること ・ <u>携帯電話やフリーメールアドレスは迷惑メール対策等により、当センターからのメールを受信できないことがあること（受験票のダウンロードにメールは不要）</u> ・既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと（書換の申請中は不可） ・乙種免状既得者が乙種試験を受験する場合、自動的に科目一部免除になる
	上記以外の受験資格者 (別記1 (P19) 参照)	×	
乙種	第1類又は第5類を受験する方で、火薬類免状による科目免除を希望する方	×	
	上記以外の方（複数受験を除く）	○	
丙種	5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方で、証明書による科目免除を希望する方	×	
	上記以外の方	○	
複数受験	すでに乙種危険物取扱者免状を取得している方で、同一試験時間帯に乙種の試験を2種類又は3種類受験する方	×	複数受験を希望される場合は、書面申請をしてください。
再受験	過去3年以内に書面申請又は電子申請し、受理された経過がある方で、同じ試験種類を再度受験する方（受験地は問いません。）	○	・同一試験日に1種類のみ電子申請可 ・入力時に前回の受験票（控）又は試験結果通知書が必要 ・試験科目の免除の内容は前回の試験と同じ（科目免除の内容変更は不可）

※1 電子申請の受付時間は、受付開始日の午前9時から受付最終日の終日となります。（24時間対応（ただし、メンテナンス時間を除く。）。受付最終日の午後11時59分までに申請手続きが完了している申請が有効です。）

※2 危険物取扱者免状を取得していることによる甲種受験資格、乙種科目免除資格のある方でも、免状番号（免状の写真下に記載されている12桁の番号）のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面申請してください。（電子申請は、免状番号の入力が必要なため。）

※3 団体申請（後記8-3 (P12) 参照）の場合は、上表の「可否」欄に×印が付いていても可能な場合があります。

電子申請に関するお問い合わせ先

一般財団法人 消防試験研究センター 電子申請室
 専用電話（全国共通） 0570-07-1000（通話料必要）
 受付時間 9:00～17:00（土日、祝日、年末年始を除く）

電子申請
QRコード



8-2 書面申請の方法

(1) 書面申請（願書による申請）の場合は、受験する種類（1種類に1枚）ごとに作成し、次表の書類の提出が必要です。提出書類に不備があった場合は、受験できない場合がありますので、ご注意ください。

提出書類名		留意点
受験願書		試験手数料の払い込みだけでは受験できません。「 受験願書記入要領 」(P 7～11)をよく読んで必要事項を記入し、必ず受験願書を提出してください。
振替払込受付証明書（お客さま用）		試験案内に挟み込んでいるセンター指定の払込用紙を使用して、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込み（ ATM機での払込みは不可 ）、受付局日附印がある「振替払込受付証明書（お客さま用）」を願書B面表の該当箇所に貼付してください。（P 8、10、13 参照）
該 当 者 の み	【既に危険物取扱者免状を1種類でも取得している方】 危険物取扱者免状のコピー	科目免除希望の有無にかかわらず 、免状の表面、裏面のコピーを、願書B面裏の「 既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄 」に貼付してください。（P 8、11 参照） なお、免状が手帳式の場合は、氏名及び写真のある面と既得免状の記載がある面双方のコピーを貼付してください。
	【甲種受験申請者】 甲種受験資格を証明する書類	別記1「 甲種危険物取扱者試験 受験資格 」(P19)で示す証明書類の提出が必要です。願書B面裏の「 各種証明書等貼付欄 」又は「 既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄 」の該当欄に貼付してください。 なお、「 乙種危険物取扱実務経験証明書 」については、事業主等が受験願書のB面裏の様式に直接記入（社印及び証明権限者の印の両方が必要）してください。（P 8、11 参照）
	【乙種・丙種試験の科目免除申請者】 乙種・丙種試験の科目免除資格を証明する書類	該当する乙種免状又は火薬類免状の写し、団員歴証明書等を、願書B面裏の「 各種証明書等貼付欄 」又は「 既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄 」の該当欄に貼付してください。（P 4、8、11 参照）

(2) 受験願書等の申請書類は、次表の提出場所へ持参又は郵送して提出してください。郵送する場合は、願書を折らずに入る大きさの封筒に入れて提出してください。

提出場所	窓口受付時間
一般財団法人 消防試験研究センター 愛媛県支部 〒790-0011 松山市千舟町 4-5-4 松山千舟 454 ビル5階 (P24 参照)	午前9時から午後5時まで (土日、祝日、年末年始を除く。)

※1 郵送による提出は、受付締切日までの日付消印があり、かつ、必要事項の正確な記入と必要な貼付書類等が全て整っているものに限り受理します。

※2 郵送された書類に不備がある場合、受付期間内に修正できれば受理しますが、修正できない場合は返却しますので、早めの提出を推奨します。

※3 郵送による提出の場合、願書が届いたか否かのお問い合わせには、一切応じられません。確認が必要な場合は、必ず「**特定記録郵便**」や「**簡易書留**」、「**レターパック**」等ご自身で確認できる配達方法でお送りください。

※4 受付期間外に願書を送付された場合は、返却しますので、ご注意ください。

受験願書記入要領

受験願書は、**A面とB面の複写式**です。次の記入要領と記入例を参考にして、**黒色ボールペン**を使って丁寧に記入し、書き損じ箇所は、横二重線を引き、余白に訂正してください。**(訂正印不要)**

願書記入欄		記入要領	
A	① 都道府県名	都道府県名欄は、「愛媛」と記入。	
	② 申請日	願書提出日を記入。	
	申請者 氏名	③ フリガナ	左詰め、カナ氏名の濁点・半濁点は1マスを使って記入。
		④ 氏名	氏と名を分けて左詰めで記入。外国籍の受験者は住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入。
	⑤ 生年月日、 本籍	該当する元号に○を付け、1桁の場合は前に「0」を付ける。 本籍欄は、本籍の都道府県名を記入。(外国籍の者は「外国籍」と記入) コードは、願書B面裏の「都道府県等コード表」を参照。	
	⑥ 住所	郵便番号は、7桁枠内に記入。 住所は、3段 ①都道府県市区町村名・字名／②丁目・番地・号／③アパート・マンション名・棟番号・部屋番号等)に分けて記入。 「大字」「番地」「棟」「号」の文字は省略。	
	⑦ 自宅電話番号等	市外局番から「-」を入れて記入。(例：089-000-△△△△)	
	⑧ 勤務先名又は学校名、 連絡先電話番号	勤務先又は学校名を記入。(所属先がない場合は空欄可) 連絡の取りやすい電話番号を記入。(携帯電話も可)	
	⑨ 試験日	試験日を記入。	
	⑩ 試験種類	受験する試験種類に○を付ける。 乙種は受験する類番号(1～6)を記入。	
	⑪ 受験地	希望する受験地名を〇〇市と記入。(例：松山の場合は、松山市) ただし、高校生等で愛媛大学での受験を希望する場合は、「愛媛大学」と試験会場名を記入。「高校生等」には、高等専門学校生を含む)	
	⑫ 甲種受験資格	甲種受験者は、資格の略称を記入(別記1(P19)参照)。乙・丙種は記入不要。	
面	⑬ 科目免除 (甲種受験者を除く)	(上段) 乙種第1類又は第5類の受験者で火薬類免状を取得している方 は、該当する事項に○を付ける。なお、「受ける」に○を付けた場合は、火薬類免状のコピーを受験願書B面裏の各種証明書等貼付欄に貼付。 (中段) 既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている受験者 は○を付け、免状両面のコピーを受験願書B面裏の既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄に貼付。 (下段) 丙種危険物取扱者の受験者 で、5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に 該当する場合は ○を付け、消防団員歴証明書(消防団長等が証明するもの)と消防学校の教育修了証明書(消防学校長が証明するもの)を、受験願書B面裏の各種証明書等貼付欄に貼付。	
	⑭ 複数受験	複数受験者は、⑩で記入した類と同時に同一支部で受験する他の類を記入。(3種類の複数受験の場合、枠の中に、他の2つの類を両方とも記入。)	
	⑮ メールアドレス (任意)	書類等に不備があった場合の連絡手段として願書記載の自宅電話等に連絡しますが、それによりがたい場合で、メールによる連絡も希望する場合はメールアドレスを記入。(携帯電話アドレス可) なお、迷惑メール対策等の設定をしている場合は、当支部からのメールが届くようドメイン指定受信等の設定(ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp)が必要。	
	⑯ 他の都道府県申請状況	他の都道府県で3ヶ月以内に受験申請した場合は記入。	
	⑰ 該当する職業等	①～⑪から1つ選び○を付ける。(無職は「その他」に記入)	

A 面	⑱ 免状取得の有無等	危険物取扱者免状の既得の有無について、該当するものに○を付ける。 （「有」の場合、右側の⑳「免状番号」欄に既得の免状番号を必ず記入のこと。）
	⑲ 取得している 危険物取扱者免状	⑱で「有」に○を付けた場合は、全ての既得免状の交付状況を記入。 コードは、願書B面裏の「都道府県等コード表」を参照。 丙種のみを含め、願書B面裏に免状両面のコピーを貼付。
	⑳ 免状番号	免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入。
B 面 表	★ B面は、複写式となっていますので、A面から転写されます。	
	㉑ 振替払込受付証明書 (P13参照)	試験案内に挟み込んでいるセンター指定の払込用紙を使用して、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込み（ATM機での払込みは不可）、受付局日附印のある「振替払込受付証明書（お客さま用）」を指定箇所に貼付。 受付局日附印のないものは不可。 また、本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」を貼付しても 無効 。
B 面 裏	㉒ 各種証明書等貼付欄	甲種受験資格者の証明書類、又は火薬類免状の写しを貼付。
	㉓ 乙種危険物取扱 実務経験証明書	「実務2年」で受験する甲種受験者のみ記入。 会社印と証明者印の両方必要。 実務2年の証明内容を具備していれば、他の様式の証明書でも可。
	㉔ 既得危険物取扱者 免状（コピー）貼付欄	危険物取扱者免状の所持者は、 科目免除希望の有無にかかわらず 、免状のコピー（両面）を貼付（氏名・写真・交付番号等の全面コピー。P6参照）。
	㉕ 5年以上消防団員で 基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方が、 丙種試験の科目免除を受けるときは 、団員歴証明書（消防団長等が証明するもの）及び教育修了証明書（消防学校長が証明するもの）を貼付。

個人情報取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的の達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

11

危険物取扱者試験受験願書 (全国共通)

(A面記入例)

危

① 一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		② 申請日 令和 ΔΔ 年 ΔΔ 月 ΔΔ 日	
③ ショウホウ		ハナコ	
④ 消防		花子	
フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください			
⑤ 生年月日 (大昭平令) 05 年 10 月 03 日生	本籍 愛媛	都道府県 愛媛	本籍コード 38
⑥ 郵便番号 791-1135 必ず記入してください	自宅電話番号 089-000-8808	⑧ 勤務先名又は学校名 株式会社松山支店	
住所 愛媛県松山市西野町甲 104-1-21 〇〇マンション2B		連絡先電話番号(携帯電話も可) 089-000-ΔΔΔΔ 内線()	
⑨ 試験日 令和 00 年 00 月 00 日	⑩ 試験種類 甲乙丙種 第4類	⑪ 受験地 松山市	
⑫ 甲種受験資格	⑬ 科目免除 乙種危険物取扱者免状の交付を 受けている	⑭ 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること 甲乙丙種 第 類	
⑮ 試験日	⑯ 試験種類	⑰ 科目免除	
⑱ 受験地	⑲ 甲種受験資格	⑳ 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	
㉑ 科目免除	㉒ 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	㉓ 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	
㉔ 免状取得の有無について記入してください 有 無	㉕ 免状番号 1384 1651 8689	㉖ 免状番号	
㉗ 取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	㉘ 取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	㉙ 取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	
元号コード (昭和3 平成4 令和5)	免状交付年月日	交付番号	※入力番号
甲			
乙1			
乙2			
乙3			
乙4			
乙5			
乙6	5 02 年 07 月 16 日	00031	愛媛 38
丙			
<p>(記入上の注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください ● 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください ● 枠は該当するものに○を記入してください ● 免状番号は、免状写真裏下に記載されている番号です ● ※印は、記入しないでください 			

※団体コード ※受付機関コード ※分類コード

②②

②⑤

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

各種証明書等をこの部分にのり付け
してください。(P8参照)

都道府県等コード表

北海道01	福島07	東京13	山梨19	滋賀25	鳥取31	香川37	熊本43
青森02	茨城08	神奈川14	長野20	京都26	島根32	愛媛38	大分44
岩手03	栃木09	新潟15	岐阜21	大阪27	岡山33	高知39	宮崎45
宮城04	群馬10	富山16	静岡22	兵庫28	広島34	福岡40	鹿児島46
秋田05	埼玉11	石川17	愛知23	奈良29	山口35	佐賀41	沖縄47
				0	徳島36	長崎42	外国籍99

実務経験の受験資格で甲種を受験される方は、
下欄の証明書による事業所等の証明が必要で
す。(P8②③及びP19別記1[3]参照)

②③

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	〇〇 〇〇	平成〇年〇月〇日生
取り扱った危険物	第3類	品名 カリウム
取り扱った期間	〇年〇月〇日から 〇年〇月〇日まで (3年3月)	
製造所等の区分	・製造所	・貯蔵所
上記のとおり相違ないことを証明します。		
証明年月日	〇年〇月〇日	
事業所名	〇〇化学株式会社	
証明者	役職 代表取締役	事業所等の印
	氏名 〇〇 〇〇	
	電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇	
		証明者印

「取り扱った危険物」の類別は、取得している乙種危険物取扱者免状の種類と一致する必要はありません。

「取り扱った期間」が継続していない場合、実際に取り扱った期間を通算して算定することができます。(一つの事業所で実務経験期間が不足する場合は、他の事業所での期間を通算できます。この場合、別途、他の事業所の証明書が必要です。)

証明書作成時に実務経験中で、受験予定の試験日まで続くことが見込まれる場合は、試験日までを実務経験期間とすることができます。

事業所(会社等)の印

証明者(事業主等)の役職印又は私印

両方必要

②④

既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄

危険物取扱者講習の状況		
修了年月日	講習実施機関	証印
(備考)		

危険物取扱者免状

氏名 消防 花子
生年月日 平成05年10月03日 本籍 愛媛県

種類	交付年月日	交付番号	交付地
甲種			
乙種1類			
乙種2類			
乙種3類			
乙種4類			
乙種5類			
乙種6類	R02.07.16	00031	愛媛
丙種			



写真の書換は
2030年
7月16日まで
1384 1651 8689

愛媛県知事

(B面裏)

危険物取扱者免状を取得されている方は、科目免除希望の有無にかかわらず、免状のコピー(両面)をこの部分にのり付けしてください。(P6、P7⑬、P8②④参照)

8-3 団体申請による受験

- (1) 法人や学校等教育機関、グループ等で、次の要件を満たすことができる場合は、団体申請することができます。
- ア 10人以上の受験者が見込まれること。
 - イ 受験願書の提出、試験手数料の払込み、その他関係事務を取りまとめる担当者（以下、「団体代表者」という。）を置くこと。
- (2) 手続き

区 分	手 続 ・ 条 件
書面申請	<ul style="list-style-type: none"> ① 年度毎に当支部から入手した「団体申請申込書」を提出すること。 ② 受験願書及び試験種類別受験者名簿を一括提出すること。（払込書による受験手数料の全員分の一括払込みが可能。なお、一括払込みの場合、振替払込受付証明書の払込人氏名には、受験申請者のうち1名の氏名及び団体名を記入すること。） ③ 受験票及び試験結果通知書を団体代表者宛に一括送付することを希望する場合は、一括提出する願書に、団体代表者宛の受験票送付用封筒 及び 試験結果通知書送付用封筒（いずれも切手不要）を添えて提出すること。
電子申請	<ul style="list-style-type: none"> ① 年度毎に当支部から入手した「団体申請申込書」を提出し、電子申請に必要な「団体コード」、「団体確認キー」及び「団体代表者キー」の交付を受けること。 ② 電子申請の種類 <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体「個別」申請（団体代表者の下で、受験者が個別に直接電子申請する方法） <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体代表者：団体情報の登録 及び 受験者への周知（「団体コード」、「団体確認キー」） ・ 各 受 験 者：団体申請者向けホームページから願書の電子申請及び受験手数料の払込み、受験票のプリントアウト ○ 団体「一括」申請（団体代表者が、願書を一括して電子申請する方法） <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体代表者：ホームページの電子申請システムの指示に従い次の事務を行う。 願書データの一括入力、証明書類一覧表・当該証明書類（一括送付希望の場合）試験結果通知書送付用封筒（切手不要）の支部への提出（期限：願書受付期間末日）、試験手数料の払込み（一括又は個別払込みの選択可）、受験票の出力・配付

※ 試験結果通知書の送付については、申出により一括又は個別送付の選択が可能です。

9 試験手数料の納入方法

(1) 試験手数料

甲 種	乙 種	丙 種	備 考
6,600 円	4,600 円	3,700 円	一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。自己都合により試験を欠席してもお返しできません。（欠席の連絡は不要です。）

(2) 電子申請の場合

電子申請の払込方法は、次の3種類から選択できます。ホームページ画面の指示に従い、手続きをしてください。払込手数料は、1件230円（税込み）です。

決済方法	決済内容
クレジットカード	VISA、JCB、マスターカード、アメリカンエキスプレス、ダイナース
ペイジー (Pay-easy)	情報リンク方式、オンライン方式
コンビニエンスストア	セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート

※ 電子申請での団体一括申請（8-3（P12）参照）の場合は、払込手数料はかかりません。（当センターが負担します。）ただし、ペイジーオンライン方式を選択し、ゆうちょ銀行のATMで現金で支払う場合は、手数料110円がかかります。また、団体で集金した硬貨をゆうちょ銀行口座に預け入れるときに、場合によって硬貨取扱手数料が発生することがありますので、ご注意ください。

(3) 書面申請の場合

ア 試験案内に挟み込んでいるセンター指定の払込用紙を使用して、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。（払込手数料が必要です。）

※ ATM機での払込みは不可です。ATM機で払い込むと、受験申請に必要な「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受領することができません。

イ 窓口から受領した日附印入りの「振替払込受付証明書（お客さま用）」を、受験願書B面の貼付欄に糊付けしてください。（本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」を貼り付けしないでください。貼り付けた場合は、改めて「振替払込受付証明書（お客さま用）」を提出していただきますので、ご注意ください。）

※ 複数受験の場合、複数分の試験手数料を、1枚の払込用紙でまとめて払い込むことができます。この場合の「振替払込受付証明書（お客さま用）」は、試験種類の数字が最も小さい試験の受験願書B面に貼り付けてください。

※ 「払込金額」欄を訂正した「振替払込受付証明書（お客さま用）」は無効です。金額の記入を誤った場合は、新しい払込用紙をお使いください。

※ 「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターとしては、試験手数料の払込みがあったものと認めることができません。その場合は、再度払込みのうえ、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼付していただくこととなりますので、ご注意ください。なお、再度払い込んだ後に紛失した証明書が発見されたときは、還付申請することができますので、当支部へご連絡ください。

この部分を貼ると無効となり、受験できなくなります。

この赤い枠で囲まれた「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書に貼ってください。

払込用紙（一部抜粋）
（必ずセンター指定の払込用紙を使用してください。）

振替払込受付証明書（お客さま用）
（郵便局・ゆうちょ銀行へ依頼人）
この受付証明書に日附印を押印し、依頼人に交付してください。

千 百 十 万 千 百 十 円
 ※ 払込金額 ¥XXXXX
 一般財団法人
 消防試験研究センター
 ※ 加入者名 口座記号
 00170-3-136220
 ※ 依頼人住所
 松山市西野町甲
 104-1-21
 消防 花子
 ※ 氏名
 ※ 電話 089-000-8808
 ※ 日附印
 日附印なき証明書は無効
 （払込人⇒消防試験研究センター）
 （承認番号東証第2015号）

払込金額を記入してください。
 甲種 6,600円
 乙種 4,600円
 丙種 3,700円
 金額の前に必ず「¥」マークを記入してください。
※金額を訂正したものは無効

本人保管用

受験願書貼付用

必ず郵便局の日附印を確認してください。
※日附印がないものは無効

10 受験票及び写真の取扱い

(1) 受験票の取扱い

区 分	取 扱 事 項
書面申請の場合 (試験日の約 10 日前 に当支部から発送)	① 記載内容の確認 ② 氏名欄に黒ボールペンで記入、所定の写真(下記(2)参照)を貼付 ③ 試験当日持参(受験票(控)の部分を除く。)
電子申請の場合 (試験日の約 10 日 前に電子メール)	① 電子メールの指示に従って受験票をダウンロード(※2参照)し、 必ずA4サイズの紙に印刷してください。(拡大・縮小して印刷しないこと。) ② 印刷した受験票を中央の切り取り線で切り取り、上半分を山折りし、裏側をのり付けて貼り合わせ、氏名欄に黒ボールペンで記入、所定の写真(下記(2)参照)を貼付。 ③ 上半分の受験票を試験当日持参(下半分(受験票(控))は持参の必要なし。※4参照。)

※1 書面申請において、試験日の5日前までに郵送されない場合は、当支部へ本人が直接連絡すること。

※2 電子申請時に入力した電子メールアドレスに、受験票がダウンロードできる旨の通知がある。

※3 記載内容を確認し、訂正すべき事項がある場合は、試験当日、試験室での受付時に申し出ること。

※4 受験票(控)は、今後、合格発表の確認、甲種や電子申請の再受験の際に使用できるので、大切に保管すること。

(2) 貼付する写真の規格等

写真の大きさ	縦4.5cm × 横3.5cm (いわゆる パスポート・サイズ)
画質・画像	試験日の6か月以内に撮影したカラー又は白黒写真で ・鮮明なもの(デジタル写真の場合は、フィルム写真と同等以上の高画質なものに限ることとし、写真専用紙で印刷すること。) ・髪などで顔がかくれず、よく分かるもの ・胸から上の正面三分身像、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景 ・枠なし
裏書き	写真の裏面に撮影年月日、氏名、年齢を記入。

(3) 受験票のイメージ

【書面申請者用受験票】

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号 (0004)

受験番号	E1-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消 防 太 郎		
試験日時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場(試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

999-9999
○○県○○市○○町
1-23-45
消防 太郎 様

受験票

一般財団法人消防試験研究センター ○○県支部
〒123-4567
○○県○○市○○区○○町1-23-45
○○市センタービル10階
Tel 123-456-7890

注:記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票

写 真

縦 4.5cm × 横 3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
6ヶ月以内に撮影したもの
(正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像)しっかりとりのり付けて下さい。
(セロハンテープ不可)

複数受験者座席番号 (0004)

受験番号	E1-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「かき書」で記入してください。		
試験日時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場(試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001 (1234)

試験当日、この受験票は回収します。

①切り離す

②写真を貼る

③黒ボールペンで記入

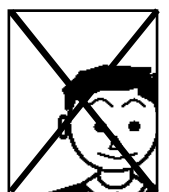
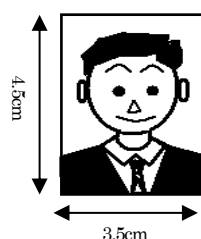
[写真の例]

- ・前髪が目にかかっていたり、サングラスをかけたたりしない。
- ・画質の悪いもの、キズのあるもの、不鮮明なものなども不可。
- ・写真を貼付する際に、糊などで写真や受験票が汚れないよう、ご注意ください。

○ 受験票の氏名欄は、黒ボールペンで記入。

良い写真

悪い写真



③写真を貼る

注意事項

- 次の場合は受験することができません。
 - 受験票がない場合
 - 受験票に写真を貼っていない場合
 - 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いします。
- 電話による可否の問い合わせには、応じられません。
- 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 試験日時の変更が生じた場合は、当センターのホームページに緊急情報又は各支部からの重要なお知らせとして掲示します。

一般 財団法人 消防試験研究センター ○○県支部
 〒123-4567 Tel 123-456-7890
 ○○県○○市○○区○○町1-23-4○○市センタービル 10階

危険物取扱者試験 受験票

写 真
 縦 4.5cm × 横 3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
 6ヶ月以内に撮影したものの
 (正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像)

しっかりとり付けして下さい。
 (セロハンテープ不可)

④黒ボールペンで記入

複数受験者座席番号(0004)

受験番号	EI-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「カギ書」で記入してください。		
試験日時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
 001-01-0001 00001 (1234)

試験当日、この受験票は回収します。

山折りしてのり付けしてください

②山折りのり付け



切り取ってください

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	EI-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消 防 太 郎		
試験日時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			
受験者 現住所			

①切り離す

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
 注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。

次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要なですので、大切に保管してください。

11 試験当日の留意事項

(1) 持ち物

- ア 受験票（縦4.5 cm × 横3.5 cmの写真を糊付けしたもの）
※ 複数受験者は、それぞれの類の受験票が必要です。
- イ B又はHBの鉛筆（シャープペンシル含む） 数本
- ウ プラスチック消しゴム

(2) 試験会場と集合時刻

受験票に記載されている試験日、集合時刻、試験開始時刻、試験会場等を必ずご確認のうえ、集合時刻までに指定された試験室の座席に着席してください。試験開始前に受験上の留意事項等を説明します。

(3) 試験の方法

種 類	方 法
甲種又は乙種	5肢択一式（マークシート方式）
丙種	4肢択一式（マークシート方式）

(4) その他

- ア 次の場合は受験できません。
 - ① 受験票がない場合
 - ② 受験票に貼付する写真をお持ちでない場合
 - ③ 本人と確認できない写真（マスク、サングラスの着用等）を貼っている場合
- イ 鉛筆又はシャープペンシル以外の筆記用具（ボールペン等）を使用して解答カードにマークした場合には、機械が読み取れず、0点となることがありますので、使用しないでください。
- ウ 参考書、法令集等の参照は一切できません。
- エ 受験机には、筆記用具、飲用ペットボトル、腕時計以外のもの（テンプレート等の定規類、下敷き、筆箱、電卓、電子手帳、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等）は、置かないでください。
- オ 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。（これらの電子機器類を時計として使用することはできません。）
- カ 試験問題集や解答カードの持ち帰り、問題の撮影やメモは失格となるので、留意してください。
- キ その他
 - ① 試験会場等が変更されていることがあります。受験票に記載された試験会場等をよく確認してください。
 - ② 試験に関して、試験会場へ電話の問い合わせはしないでください。
 - ③ 試験会場には、駐車場はありません。試験会場周辺に違法駐車、迷惑駐車は絶対にしないでください。

12 合格基準

試験科目毎に、60%以上の成績（正答率）であること。

なお、前述6（P4）により試験科目の一部が免除された場合は、免除された以外の問題で上記の成績であること。

13 試験結果発表

試験結果は、下表の3通りの方法で発表します。

なお、試験結果の合否、受験番号、試験問題及びその解答に関する電話等でのお問い合わせには、一切お答えできません。

発表方法	備考
試験結果通知書	試験結果発表日に、受験者全員に合否を記した試験結果通知書を当支部から発送します。（圧着はがき）
当支部掲示板	試験結果発表日の午前9時から、合格者の受験番号を当支部の掲示板に公示します。
ホームページ	試験結果発表日の正午から、合格者の受験番号を当センターホームページに掲示します。（アドレス： https://www.shoubo-shiken.or.jp ）

14 合格者の免状交付申請手続き

試験に合格した方は、試験結果通知書下段の枠内説明文及び下表に従い、当支部に郵送又は持参して、免状の交付を申請してください。

なお、免状交付申請に必要な経費は自己負担となりますので、ご了承願います。

また、試験日から6か月過ぎますと、再度写真の提出をお願いすることになりますので、ご注意ください。

申請時にご提出いただくもの	免状を郵送で受け取る場合	免状をセンター支部窓口で受け取る場合
1 試験結果通知書・免状交付申請書	<p>○結果通知書と免状交付申請書は切り離さず提出してください。</p> <p>○免状交付申請書に、申請日、申請者名(合格者名)、連絡先電話番号を必ずご記入ください。</p>	
<p>2 定形封筒</p> <p>長さ 14～23.5 cm 幅 9～12 cm</p>	<p>この封筒を使用して、免状ができあがり次第、簡易書留郵便で郵送しますので、封筒表面に送り先(申請者)の住所、氏名、受験番号を記入のうえ、434円分(下記※(3)参照)の郵便切手を貼付したものをご用意ください。</p> <p>勤務先等申請者の住所以外の場所に郵送を希望する場合は、表面に希望送付先の住所、宛名とともに、必ず申請者の氏名を記入してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  </div> </div> <p>★送付先の記入には、次ページの①をご利用ください。</p>	<p>窓口で受け取る場合も、紛失等を避けるため、この封筒を使用しますので、封筒表面に受験番号、氏名、連絡先電話番号を記入したものをご用意ください。(郵便切手は不要です。)</p> <p>免状ができあがり次第、電話連絡しますので、窓口へお越しください。</p> <p>その際、</p> <p>① 本人が受領する場合は、印鑑</p> <p>② 代理人が受領する場合は、委任状、代理人の写真付き公的証明書(運転免許証等)及び代理人の印鑑が必要です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  </div> </div>
3 愛媛県収入証紙(2,900円)	<p>愛媛県収入証紙(収入印紙ではない)は、伊予銀行本店・支店(一部支店を除く)等の愛媛県収入証紙売りさばき所(当センターホームページの「証紙入手先」からアクセス可)で購入し、申請書裏面の手数料貼付欄に重ならないように貼付してください。(抹消印のあるものは不可)</p>	
4 既得危険物取扱者免状	<p>危険物取扱者免状を所有している方は、既得免状を添付してください。(携帯義務のある方は、既得免状の両面の写しを添付し、新しい免状の交付時に既得免状を返納してください。)</p> <p>既得免状を亡失又は滅失した方は、その免状の再交付申請を同時に行ってください。</p>	

※ 複数の免状の一括交付について

事業所等で、複数名の免状の一括交付を申請される場合は、以下の点に注意してください。

- (1) 複数名の申請者の申請書をまとめて提出してください。
- (2) 免状送付用封筒の裏に、申請者全員の受験番号と氏名を記入してください。(別紙名簿同封も可)
- (3) 免状枚数が3枚以上の場合の簡易書留用郵便切手料金は、上記434円を次のとおり読み替えてください。

免状枚数	3～6枚	7～12枚	13～19枚	20～33枚	34～67枚
切手料金	444円	490円	560円	600円	740円

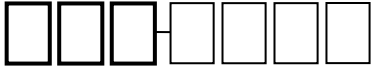

- (4) 団体代表者等がセンター窓口で代理受領する場合の留意事項は、上表2の右欄の記載内容と同じです。

※この頁を免状交付申請の際に切り取り、封筒に貼り付けてご利用ください。

①あなたが、できあがった免状を郵送で受け取る場合に、ご用意いただく定型封筒（免状郵送用封筒）の表面に貼り付けてご利用ください。（前ページ参照）

②あなたが、免状の交付申請に必要な申請書や免状郵送用封筒等を、センターに郵送するときの封筒表面に貼り付けてご利用ください。

（ 切り取り ）

434 円分の郵便切手を貼ってください。 (免状受取用)		郵便切手を貼ってください。 (申請用)							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">簡易書留</div>	様	(申請書・免状郵送用封筒・旧免状在中) 一般財団法人消防試験研究センター 愛媛県支部 行 松山市千舟町四丁目5-4 松山千舟454ビル5階							
(新規作成免状在中)									
一般財団法人 消防試験研究センター 愛 媛 県 支 部 〒790-0011 松山市千舟町四丁目5-4 松山千舟454ビル5階 TEL (089) 932-8808		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">差出人</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">住所</td> <td style="width: 80%; text-align: center;">〒 —</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">氏名</td> <td></td> </tr> </table>		差出人	住所	〒 —		氏名	
差出人	住所	〒 —							
	氏名								
受験番号 —	受験番号 —								
※受験番号を記入してください。		※受験番号を記入してください。							

甲種危険物取扱者試験 受験資格

資格者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証明書類
[1] 大学等において 化学に関する学科又は課程 を修めて卒業した者 (別表1 (P20) 参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	大学等卒	卒業証書、学位記等卒業したことを証する書類の写し(縮小したものも可)又は卒業証明書(原本) (いずれも学科等の名称が明記されているもの)
[2] 大学等において 化学に関する授業科目を15単位以上 修得した者 (別表2 (P21、22) 参照)	大学、短期大学、高等専門学校、大学院、専修学校 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書(原本) (書式例2 (P23) 参照) 又は成績証明書(原本) (いずれも修得単位が明記されているもの)
[3] 乙種危険物取扱者免状 を有する者	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における 危険物取扱いの実務経験が2年以上 の者	実務2年	乙種危険物取扱者免状の写し及び乙種危険物取扱実務経験証明書(P6、8、11参照)
	次の 4種類以上 の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	4種類	乙種危険物取扱者免状の写し
[4] 修士・博士の学位 を有する者 (別表1 (P20) 参照)	修士又は博士の学位を授与された者で、 化学に関する事項を専攻 した者(外国の同学位も含む)	学位	学位授与証明書(原本)、学位記(写し)、修了証書(写し)、修了証明書(原本)のいずれか(学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの)
上記のいずれかにより、過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことがある場合は、その時の受験票若しくは受験票(控)又は試験結果通知書を有している者		上記のうち該当する略称	受験票(控)又は試験結果通知書(各コピー可)

- (備考) 1 [1]の卒業証書、学位記等又は卒業証明書は、化学に関する学科又は課程が証明できるものがが必要です。高等学校及び中等教育学校の専攻科については、修業年限が2年以上のものに限り認めます。
- 2 [1]及び[2]の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として上表の書類のほか、次のア又はイのいずれかの書面が必要になります。
(ただし、上表の証明書類に次のア又はイの内容が記載されている場合は、次の書面は不要です。)
ア 「専門士」若しくは「高度専門士」の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し。
イ 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面。(書式例1 (P23) を参照してください。)
- 3 [2]の大学、短期大学、高等専門学校、大学院、専修学校における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
- 4 [3]の乙種危険物取扱実務経験証明書は、事業主等が受験願書のB面裏の様式に記入してください。
- 5 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細は、願書提出前にお問い合わせください。
- 6 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。
- 7 受験願書には、既得の危険物取扱者免状の両面のコピーを貼付してください。

別表 1

化学に関する学科等の例

1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる「化学に関する分野」の学科又は課程

2 次の表に示す学科又は課程等

※下表にない場合は、お問い合わせください。

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料科学工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料物性学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料加工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料機能工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料工学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表 2

化学の授業科目例

1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる「化学に関する分野」の授業科目

2 次の表に示す授業科目

※下表にない場合は、お問い合わせください。

化学の授業科目の名称									
ア	アモルファス物性工学 安全管理学 安全工学 安全防災工学	カ	環境物質工学 感光物性論 岩石学 官能基変換論	コ	高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 細胞培養学	サ	材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水処理 色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学	シ	食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学
イ	移動現象論 移動速度論 医薬品安全性学 医薬分子設計学 医用高分子機能学	キ	機器分析 機能高分子学 機能性高分子材料学機 能性材料工学 機能性触媒工学 機能性有機材料 機能セラミック論 凝固論及び結晶生成 金相学 金属学	ク	合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 細胞培養学	ス	水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学		
エ	衛生工学 衛生薬学 栄養学 エレクトロニクス エレクトロニクス材料工学	ク	金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	セ	製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学		
オ	応化・プロセス工学	コ	金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	ク	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学		
カ	回折結晶学 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 核融合工学概論 化工熱工学 化工熱力学 化工物理学 化工流体工学 化石エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学	ケ	金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	ク	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	セ	製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学		

化学の授業科目の名称(続き)

セ	精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料科学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセス セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	テ	電気電子材料科学 電気電子材料科学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 ト 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニ ニューセラミック学 ネ 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学	ハ	反応操作 反応速度論 ヒ 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料科学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学 フ ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能	フ	分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 ヘ 平衡論 平衡・反応論 ホ 放射線計測学 放射線物性計測学 マ 膜機能工学 マテリアル工学 ミ 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論 ム 無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 メ 免疫薬剤学 モ 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学 ヤ 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学	ヤ	薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 ユ 有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機分析学 有機薬品製造学 融体有機材料電子物性 ヨ 窯業工学 窯炉工学 リ 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レ レオロジー
---	--	---	---	---	---	---	--	---	---

(備考) 化学に関係のある実験、実習も授業科目として扱います。

○ 専修学校用受験資格証明書 <書式例1>

右の例の内容が記載されて
いれば、証明書の書式は問い
ません。

○○第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書 (専修学校用)

○○ 年 月 日 入学 ○○ 科 ○○ コース

○○ 年 月 日 修了

氏名 ○ ○ ○ ○

年 月 日 生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号	
○○ 年 月 日 △△△第 号	
課 程 の 名 称	○ ○ ○ 専門課程
修 業 年 限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700 時間

上記のとおり証明する。

年 月 日

(専修学校の所在地)

○○専修学校 学校長 氏名 ○ ○ ○ ○ 印

○ 単位修得証明書 <書式例2>

1 右の例の内容が記載されて
いれば、証明書の書式は問い
ません。

2 学長等が「化学に関する分
野」と認めた授業科目は、原則
として、そのまま単位として
認めます。

○○第 号

単 位 修 得 証 明 書

○○ 年 月 日 入学 ○○ 部 ○○科

○○ 年 月 日 修了

氏名 ○ ○ ○ ○

年 月 日 生

化学の科目名	修得単位	化学の科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

年 月 日

○○大学 学長 氏 名 ○ ○ ○ ○ 印

【注 意 事 項】

災害の発生等により、急遽、試験会場や日程を変更する場合があります。その場合は、愛媛県支部からの緊急情報としてホームページに掲示しますので、ご留意下さい。

願書提出先・お問い合わせ先

一般財団法人 消防試験研究センター 愛媛県支部

〒790-0011 松山市千舟町 4-5-4 松山千舟 454ビル5階

TEL 089-932-8808 FAX 089-935-4484

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日、年末年始を除く)

※消防試験研究センターは試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書の販売等は一切行っていません。

